

# 議会報告会をリニューアル

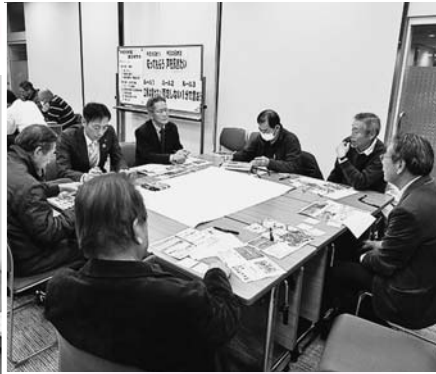
ワークショップ形式で開催!



付箋を使って意見集約



意見発表



活発な意見交換

## 常任委員会ごとにテーマを決めて議論

開催日	委員会	会場	参加者数
令和元年12月16日	文教民生	市立高校	80人
令和2年1月15日	文教民生	教育プラザ	39人
令和2年1月16日	建設水道	交流プラザ	30人
令和2年1月20日	環境経済	交流プラザ	23人
令和2年1月22日	総務市民	消防防災庁舎	73人

富士市議会基本条例では、説明責任を果たし、市民の皆様の多様な意見を把握するため、毎年1回以上、議会報告会を開催することとしています。富士市が直面する課題をより具体的に市民の皆様に伝え、今後の審議に反映させるため、今回から4つの常任委員会ごと、テーマを絞る形に変更したことで、活発な意見交換が行われました。その結果を市長へ提言しました。

### 環境経済委員会

**テーマ**  
「富士山・田子の浦港等」  
「富士市の資源を生かした観光行政について」

富士山と田子の浦は昔からその美しさで多くの人を魅了してきました。また富士川楽座などの観光資源もあり、東京から新幹線で70分という地の利もあります。これらを生かした観光を考えます。

【意見】  
富士市のよいところ

- ・富士川楽座の観覧車、岳南電車などのコンテンツがある。
- ・新富士駅、東名及び新東名インターチェンジなどもある。
- ・富士市の課題
- ・富士山以外の売りがない。
- ・大型商業施設の誘致。
- ・観光用アプリを充実させる。

【要望・提言】  
・体育館や美術館の建設、アプリの作成などハード・ソフトの整備をしたかどうか。

### 総務市民委員会

**テーマ**  
「未来の地区まちづくりセンター」  
「まちづくりセンターの指定管理者制度について」

市では、今後、まちづくりセンターの管理・運営を、地区まちづくり協議会に移行する方針を打ち出しています。

【意見】

- ・指定管理者制度に反対。
- ・今でさえ組織として成り立っていない。無理である。
- ・自分たちで運営するというイメージが湧かない。説明不足である。
- ・若い人たちの意見を聞くべきで今後の地域運営を考えてもらいたい。

【要望・提言】

- ・まちづくり協議会を指定管理者とするならば、もっと地区に説明をして、そのメリット・デメリットを明確に示してほしい。
- ・説明会を開催するだけでなく、「広報ふじ」などで目的やこれまでの検討経過なども詳細に掲載してほしい。
- ・指定管理者制度に移行する地区に負担が出ないようにしてほしい。

### 建設水道委員会

**テーマ**  
「老朽化した水道配水管のこれから」  
「水道配水管の更新事業について」

市民の大切な飲料水を家庭に届ける水道の配管が老朽化しています。毎日おいしい水をいつまでも飲み続けられるよう水道配水管更新事業について考える必要があります。

【意見】

- ・老朽管の更新などは理解できるが、一方で経費削減努力などについて住民に近いところで対話し理解してもらうことが大切。
- ・配水管については災害対応の面からも対策が必要。ハザードマップなどをつくってはどうか。
- ・電気や電話などとともに共同溝を設け、災害時の被害軽減、無電柱化、景観向上を図ってはどうか。

【要望・提言】

- ・老朽管更新と水道料値上げは、市民の理解が得られるよう説明を。漏水調査に技術革新を取り入れていくべき。

### 文教民生委員会

**テーマ**  
「私のまちの小・中学校の未来」  
「小・中学校の適正配置について」

人口減少に伴い、今後は児童生徒の数も減少していきます。将来的には学校の統廃合等も考えなくてはならない可能性があります。

【意見】

- （メリット○、デメリット△）
- 小規模校のメリット・デメリット
- きめ細かな指導ができるようになる。
- 生徒同士の仲間意識が強くなる。
- △競争力が低下する。
- △部活動に制約が出る。
- 大規模校のメリット・デメリット
- 運動会や発表会に活気が出る。
- 競争心が醸成される。
- クラブ、友人関係に選択肢が広がる。
- △きめ細かな指導が困難になる。

【要望・提言】

- ・各学年2クラス以上で編成を。
- ・1クラス35人にこだわらず、学級数を増やすほうがよい。

### 富士市立高校生とグループディスカッション

12月16日、総合探究科の授業の一環として開催された議会報告会では、議員から平成30年度決算事業評価などの報告後、生徒から次の3事業について改善案が発表され、活発な意見交換が行われました。

【高校生からの提案や意見】

- ・市民健康行動支援事業費
- ・マイレージの景品が若者向けでないため、種類を増やし選択制にする。
- ・藤枝市がポイント制を設けており、協力店約600店で利用できる。
- ・児童虐待防止事業費
- ・親の子育て、コミュニティの場を保育園・幼稚園を中心に設置する。
- ・青少年相談事業費
- ・SNSやICTを活用して、学校に行かなくても授業が受けられるようにする。



高校生の意見に助言する議員